

近畿大学法学会（通卷第五十二号）

柿沼末太教授古稀記念号

13  
10

# 近大法学

第二十卷  
第一・二号

## 第十九卷第三号 目次

### 論 説

平等権に関する判例の総合的研究(一一)……………和田鶴蔵

供託官の処分に対する不服申立……………小野村資文

税法所得論……………上野林平

先進国における少数民族問題のいくつかの例

—その背景と意義—……………伊藤勝美

金融政策に関する一つの見解……………本多新平

### 研究ノート

囚人作業に関する問題点……………高橋貞彦  
—三池炭坑における囚徒労働の採用・廃止—

## 第十九卷第四号 目次

### 論 説

物的存在と人格的法存在……………津田市正

平等権に関する判例の総合的研究(一一)……………和田鶴蔵

近代工業経営における公害対策に

関する研究(第二報)……………速水永夫

### 紹 介

ジョン・J・アプト

「戦争権の主体」——憲法的危機……………奥原唯弘

柿沼末太教授古稀記念

柿沼末太教授近影



## 柿沼教授の古稀を壽ぎて

春風秋雨君七十年の年輪によって形成された歴史は素晴らしい完成である。人生七十年古来稀で祝福するのが伝承である。われわれ法学部同僚一同も亦君の寿齡の祝福をこめて作成した労作集を机下に献呈する。

君は、昭和二十七年四月に本学教授に就任せられ、爾来二十年にわたって日本法制史および法律思想史を担当せられてきた。その間、深い愛情をもって学生の指導に当られ、法学部の育成発展に尽瘁せられた。わが法学部は、今日、大学院博士課程を設置するまでに至ったが、この発展には、君の振作に負うところが多いのである。また、君の年譜が示す通り、その活躍は多面にわたっておられるが、特に、わが国教育界の進展と選挙の啓発活動には多大の功績をあげておられる。学界では、現在、著しい飛躍を遂げつつある憲法学会の創設に大きな貢献をなされた。

古来稀な寿齡を迎えられながら、君は、きわめて壮健であられる。加餐自愛せられることを希うと共に、その積年の知識と経験を生かして、わが近畿大学の一層の発展に尽力されんことを希念して止まない。

なお、本号には柿沼教授と親しい、日本大学法学部長の川西誠教授と大阪学院大学の奥貴雄教授が、特に御玉稿を御寄せ下さった。心から謝意を表する。

昭和四十七年十二月

法学部教授

末包留三良

目

次

柿沼末太教授の古稀を寿ぎて……………末包 留三郎

## 論 説

聖書にあらわれた刑法思想……………川 西 誠……………(一)

法哲学体系第三法存在と法科学……………津 田 市 正……………(三)

外国人・人權の保障原則……………奥 貴 雄……………(五)

公職選挙法第九条三項の改正要望について……………和 田 鶴 蔵……………(八九)

英契約法の近代的動向……………末 包 留三良……………(二三)

イギリスにおける人種問題に関する一論考……………伊 藤 勝 美……………(二九)

近代工業経営論における

公害対策に関する研究(第三報)……………速 水 永 夫……………(六七)

準備預金制度に関する研究……………本 多 新 平……………(二三)



## 研究ノート

強制的措置の許可申請

(少年法六条三項) について……………高橋貞彦……………(三五)

## 判例研究

倉荷証券の発行ないし裏書譲渡後と

同証券に記載のない商人間の留置権の効力……………有田喜十郎……………(二五)

## 資料

モロッコ王国の新憲法……………奥原唯弘……………(二七)

労働委員会の不当労働行為救済命令に

ついての追跡調査

……………雑賀芳三……………(二八)  
……………若林安雄……………(二八)

柿沼末太教授略年譜……………

# 柿沼末太教授略年譜

昭和二年三月 日本大学法文学部法律学科卒業

昭和二年五月 日本大学助手

昭和四年五月 日本大学助手兼学生主事補

昭和八年五月 日本大学専任講師(政治思想史、政治史担任)

兼学生主事、爾後昭和十九年十月までの間、専任講師に兼

ねて、教務課長、学生課長、校友課長、学生指導部長、次

いで専任教授等を歴任(十七年半)

昭和十年六月 浦和市選挙公正委員会委員

昭和十三年五月 司法省東京少年審判所少年保護司

昭和十三年五月 浦和市学務委員

昭和十五年十二月 内務省都市計画埼玉地方委員会委員

昭和十八年一月 埼玉県協力会議議員、第一部長

昭和十九年十月 日本大学教授退任

昭和二十二年一月 埼玉県価格査定委員会委員

昭和二十四年四月 財団法人(農林省関係)日本4H協会理事

昭和二十七年一月 日本大学通信教育部講師

昭和二十七年二月 文部省大学設置審議会により大学教授資格

の認定を受く

昭和二十七年四月 日本大学本部嘱託(日本大学史編纂主任)

昭和二十七年四月 近畿大学教授(日本法制史、法律思想史担

当)(至現在)

昭和三十一年十月 浦和市教育委員会委員長

昭和三十二年十月 埼玉県市町村教育委員会連合会会長

(現顧問)

昭和三十二年十月 関東地区市町村教育委員会連合会会長

(現顧問)

昭和三十二年十月 全国市町村教育委員会連合会副会長

(現顧問)

昭和三十二年十月 全国公立学校施設整備期成会副会長

(現顧問)

昭和三十三年六月 埼玉県公立学校施設整備期成同盟会副会長

(現顧問)

昭和三十四年五月 埼玉県高等学校再編成協議会委員

昭和三十六年四月 埼玉県公明(現、明るく正しい)選挙推進

連盟会長(至現在)

昭和三十六年五月 日本学校安全会埼玉県支部運営審議委員会

会長

昭和三十六年十月 全国市長村教育委員会連合会会長

昭和三十六年十月 全国学校給食完全実施推進協議会常任世話

人

昭和三十七年七月 文部省特殊法人日本学校安全会運営審議委

員

昭和三十七年十月 文部省特殊法人国立教育公館設立委員

昭和三十九年六月 日本学校安全会理事

昭和三十九年六月 国立教育会館評議員

昭和四十一年七月 財団法人（自治省関係）明るく正しい選挙推進全国協議会理事（至現在）

昭和四十二年六月 文部省保健体育審議会委員

昭和四十二年七月 財団法人（文部省、経済企画庁関係）日本経済教育センター専門委員会副会長

昭和四十三年七月 埼玉県高等学校教育振興協議会委員（至現在）

昭和四十三年九月 埼玉県社会教育委員（至現在）

昭和四十三年十月 浦和市民生委員推薦委員会委員長（至現在）

昭和四十四年五月 埼玉県学校給食完全実施期成会委員（至現在）

昭和四十五年七月 日本大学協議員

昭和四十七年三月 日本大学校友会顧問（至現在）

昭和四十七年九月 日本大学評議員（至現在）

## 賞 罰

昭和三十三年十一月 皇居に於ける宴遊会に両陛下の御招を受

昭和四十三年十一月 地方教育の功勞により埼玉県教育委員会

の表彰を受く

昭和四十四年五月 地方自治の功勞により埼玉県知事の表彰を受く

昭和四十四年十月 選挙啓発活動の功勞により内閣総理大臣の表彰を受く

昭和四十四年十一月 青山御苑に於ける宴遊会に再度両陛下の御招を受く

昭和四十五年四月 教育及び教育諸団体育成の功勞により勲四等に叙せられ瑞宝章を授けらる、皇居に於いて賜記

昭和四十五年十一月 永年に亘る教育の功勞により埼玉新聞社の埼玉文化賞を受く

昭和四十七年三月 明るく正しい選挙推進全国協議会の五周年に際し皇居に於いて賜記

昭和四十七年九月 学制發布百年の記念式典に際し多年に亘る教育の功勞により再度埼玉県教育委員会の表彰を受く

An Inquiry into the Racial Problems in Britain — in Connection  
with Immigration Restricting Legislations.

..... *K. Ito* (139)

A Study on a Countermeasure against Pollution in the  
Modern Industrial Management. .... *N. Hayami* (167)

A Treatise on Reserve Requirements.

..... *S. Honda* (193)

### Note

Das Ansuchen der Erlaubnis des Zwangsmittel  
(§ 6 Abs. 3 der Jugendgesetz) — I — ..... *S. Takahashi* (225)

### Case Study

Warehouseman's Lien between Traders vs. Bonafide  
Holder of Warehouse Receipt. .... *K. Arita* (255)

### Materials

The Constitution of the Kingdom of Morocco  
(Newly adopted, 1970) ..... *T. Okuhara* (277)

A Follow-up on the Orders of Local Labor Relations  
Commission for Redressing Unfair Labor Practice  
..... *Y. Saiga*  
*Y. Wakabayashi* (287)

## **The Biographical Calendar of Prof. Kakinuma**

# KINDAI HŌGAKU

## THE LAW REVIEW OF KINKI UNIVERSITY

December 1972

---

Volume XX

Number 1, 2

---

**Dedicated to Prof. Kakinuma on His 70th Birthday**

---

### Contents

---

#### Articles

Ideas of Criminal Law in the Holy Bible

..... *M. Kawantsh* ( 1 )

System der Rechtsphilosophie, III.

— Rechtssein und Rechtswissenschaft — ..... *I. Tsuda* ( 23 )

Principles of Guarantee for Human Rights of Foreigners

..... *T. Okuno* ( 53 )

Regarding a Demand for the Amendment of the Article IX,  
Clause 3 of the Public office Electoral Law

..... *T. Wada* ( 89 )

Modern Tendencies of English Law of Contract.

..... *T. Suekane* ( 123 )

---

**THE LAW SOCIETY  
OF  
KINKI UNIVERSITY  
OSAKA JAPAN**

執筆者紹介 (執筆順)

川西	津田	奥田	和田	末包	伊藤	速水	本多	高桥	有田	奥原	若林	雑賀
誠	正	雄	貴	鶴	留	勝	永	新	貞	喜	唯	芳
三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎
(日本大学法学部長)	(本学法学部教授)	(大阪学院大学教授)	(本学法学部教授)	(同法学部教授)	(同法学部講師)	(同法学部教授)	(同法学部助教授)	(同法学部講師)	(同法学部教授)	(同法学部助教授)	(同法学部教授)	(同法学部教授)

編集委員

委員長 奥原唯弘  
委員 高橋貞彦  
委員 王義郎

昭和四十七年十二月十日印刷  
昭和四十七年十二月十五日発行

編集人 近畿大学法学会

印刷人 溝田保

印刷所 近畿大学出版印刷局

近畿大学法学部内

発行所 近畿大学法学会

東大阪市小若江三二一  
電話大阪四一四一  
振替口座大阪二五一五  
郵便番号 五七七